

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表【事業所職員向け】

調査対象者：4名

対象期間：令和5年4月～令和6年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	0	○幼稚園・小学校・中学校・高等学校、特別支援教諭が経験を活かしながら指導員として従事しているが、保育士さんは不在である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	0	○建物2階のためEVの設置・室内はバリアフリー。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	○サポート会社（健生）による定期的な研修を定期的受講し、さらに公的案内のある研修に参加。
適切 な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	○定期的なモニタリング時には保護者と利用者の参加をお願いしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	○連絡帳を使って支援内容の報告やご家庭からの要望など密に連絡を取っている。 ○利用時の学習成果や作品などは持ち帰ってご家庭でも見てもらう。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	○保護者、本人の思いや希望だけではなく指導員全員の考えや気持ちを十分に話し合うことを第一に取り組んでいる。つまづきはすぐに話し合って改善する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	○進路開拓や就職支援のヒントになるような活動支援のためにプロの職業人からの授業開拓に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	○毎月の予定を前月初めに職員間で話し合い、講師陣の予定と照合したうえで15日までに翌月の予定表を保護者に配布。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	○学習支援に関しては自学指導とともに個別指導を行い、やればできるという自己肯定感を持たせる。SST,体験授業に関しては集団活動。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	○非常勤の先生の時間制約がある場合は、常勤のみで打ち合わせを実施し日報などで後日確認
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	○療育支援システムHUGを利用し、個別にその日の提供内容などを記録していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	0	0	○特に就労準備型として、プロによる職業体験授業は、得意を生かした体験となり職業を考える一助となる。 ○学校に足が向かない一因としての学習の不安の解消のための支援。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	4	○医療的ケアが必要な子どもさんは、利用無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	0	4	○中学生・高校生の利用者様支援のため遡っても小学卒業時の担任までとなります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	4	○まだ未経験です。今年の春に移行予定の利用者さんに準備中です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	0	4	○連携を必要とする、または希望している利用者さんがいません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	○中学生・高校生対象のため交流の機会はあまりないです。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	4	○高校生の利用者様の卒業時に向けて参加準備に取り組む予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	○連絡帳での連絡と、電話連絡の利用。必要な場合は適時面談をおこなっています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	○保護者様の悩みは進路、就職になってくるため、進学先、就職先開拓の支援やアドバイスが主になります。 ○学業や生活面での相談については電話などで随時承りながら一緒に改善策を考えて前に進んでいます。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	○契約時に書面で確認しながら説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	4	○保護者会の計画はしていなかったため、次年度に向けて開催についてのアンケート調査を準備する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	4	○利用者様の特性を生かした進学・進路開拓のための支援が主のために地域住民様とともに活動するチャンスがありません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	○各マニュアルは策定し職員室にて保管。利用者様には契約時に書面にて説明。（常時閲覧可能）
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	○令和5年5月・10月にマニュアルに沿って実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	○サポート会社（健生）による定期的な研修に参加。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	○契約時に書面にて説明しやむを得ない状況の場合についての対応の場合について同意書を交わしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	